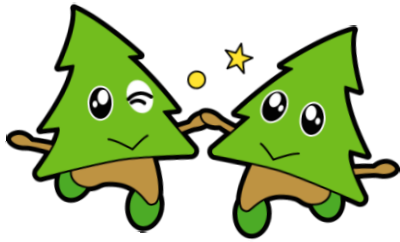


特定非営利活動法人  
あきたスギッチファンド



TEL 018-839-8941  
FAX 018-829-5803  
e-mail [madoguchi@sugicchi-fund.jp](mailto:madoguchi@sugicchi-fund.jp)  
<http://www2.akita-kenmin.jp/~akita-npo-fund/>

ファンドの寄付金受取状況

(平成28年4月～7月)

本ファンド 団体・企業寄付	666,176
個人寄付	69,000
合計	735,176



最近のあきたスギッチファンドの活動

あきたスギッチファンドの総会から早3カ月、当ファンドはいろいろ課題を抱えながら活動を進めています。この間の活動を時系列で記載してみます。懸案のホームページのリニューアルを実施しましたので、アクセスしご意見をお寄せ下さい。

4月20日～5月13日	少子化対策応援ファンド 募集
4月28日	総会 於：パーティーギャラリー・イヤタカ
5月10日～6月10日	第15回助成事業 募集
6月6日	少子化対策応援ファンド 審査会 於：遊学舎
6月20日～7月20日	第2回少子化対策応援ファンド 募集(審査：8月21日)
6月28日	チャリティ・ゴルフコンペ in 椿台 於：秋田椿台カントリークラブ
7月3日	第15回助成事業 審査会 於：遊学舎
7月11日	スギッチファンド・ホームページリニューアル
7月16日	助成事業報告会 於：遊学舎 (対象：第12回、第13回助成事業)
7月15日～18日	あきたうまいもの市 於：イオン (スギッチファンド支援)
7月31日	「あきたスギッチファンドニュースレター24号」発行



クラブハウスで表彰式



6月28日実施の第10回チャリティゴルフコンペ in 椿台。今回は女性の参加が多く、表彰式は華やいだ雰囲気でした。秋田椿台カントリークラブと多くの賞品を提供してくださった企業との協力で実施することができました。参加費の一部がスギッチファンドに寄付されます。

## 平成28年度 第1回少子化対策応援ファンド

今年度から県の補助金400万円の提供を受けて始まった少子化対策応援ファンド。スグッチファンド設立時からぜひ当法人に実施させて欲しいと考えていた思い入れの深いファンドであり、また秋田県の最も大きな課題に対応する期待の大きいファンドである。今回は子どもを産み育てやすい環境づくりや、子育て支援などの事業を対象としており、婚活等のイベントはここでは対象としない。

4月20日(水)に募集を開始、5月13日(金)の締切までに8件の応募があった。6月6日(月)に公開審査会を行い、全事業が採択された。

今回補助金360万円のうち260万円を助成することになった。残りについては、第2回として6月20日～7月20日に募集し、8月21日に公開審査会を行う。

### 選考委員

氏名	所属
高橋 雄悦	株式会社秋田魁新報社 総務局次長兼総務部長
小林 建一	秋田県立大学非常勤講師、前聖園学園短期大学教授
高島 由美	株式会社プレステージ・インターナショナル BPO 統括 秋田BPOキャンパス管理部長
佐々木 美奈子	NPO法人いきいきFネット秋田 秋田県男女共同参画センター 副センター長
久米 寿	秋田県人口問題対策課 政策監

### 募集、応募、採択状況

助成額	募集件数	応募件数	採択件数
上限20万円コース	4	2	2
上限30万円コース	6	4	4
上限50万円コース	2	2	2

### 採択団体

#### 20万円コース

団体名 ボランティアグループ COCO すた

事業名 COCO すたシングルマザーのおしゃべりカフェ+自己尊重トレーニング

シングルマザー同士で、気持ちを話せるほっとする場と時間を提供する目的で、毎月1回カフェを開催する。また各自、自分の気持ちに向き合い、ありのままの自分を肯定し、自分への信頼を得る自己尊重トレーニングを2回実施する。  
この事業を通して、シングルマザーが自信を取り戻し、社会参加や家族関係の改善に繋がることを期待される。

団体名 能代おやこ劇場

事業名 わいわいひろば

子育て中の親子だけでなく、子育てが終わった大人や子どものいない人を含めた様々な世代と一緒に昼食を作ったり、遊びのワークショップや勉強会を行う「わいわいひろば」を9回開催する。  
学年の違う子どもたちの遊びや、地域の大人たちとの関わりを通して、子育てしやすい社会の実現をめざす。



## 30万円コース



団体名 秋田子育て支援サポーター団体 CHERISH  
事業名 CHERISH キッズフェス2016

CHERISHのメンバーを中心に、秋田の子育てを応援してくれる民間企業と連携して、セリオンプラザでキッズフェスティバルを開催する。プレママ、ベビー、キッズ、ママなどそれぞれに向けて、気軽に参加でき楽しめる多様な事業を実施する。たくさんの親子がつどい、つながり、秋田の子育てが楽しいと感じてもらえる機会とする。

団体名 Raku\*iku  
事業名 思春期なんか怖くない！自信を持って立ち向かおう！  
「子育てが楽しくなるママカフェ～思春期対策講座～」

秋田県内の親向けに、選択理論心理学をベースとして、思春期までの子育て法を学べる講座を2回実施する。子育ての不安を少しでも減らし、自信を持って不安に立ち向かっていくための一助にしたい。  
子育ての不安を取り除くことで、親子の絆の深まり、親としての自信、多子化に繋がることが期待される。

団体名 ここはぐ  
事業名 個々ハグサポート ～ハグしあえる仲間づくり～

子どもを授かることや出産に対して前向きに考えられるような活動を行うことで、妊娠、出産、子育てしやすい秋田を作ることを目的に、次の事業を行う。

- ・こまち女子の会 これから子どもを授かる可能性のある女性、子どもを待ち望んでいる女性が、ヨガや食事などをしながら仲間づくりをする。
- ・天使パパ・ママのお話し会～秋田～ 流産・死産・新生児死の体験者が体験や悩みなどを話し合う。
- ・天使ちゃんのちくちく会 流産・死産・新生児死によって亡くなった赤ちゃんのための産着を作り、産婦人科のある病院へ寄付する。

団体名 あきた色育会  
事業名 「色育」で楽しく子育て親育てプロジェクト

色育とは、色を取り入れたオリジナルの教材を使用して、3つの力「集中力、想像力、コミュニケーション力」を育てていくことを目指したカリキュラム。  
親子を対象に、あるいはパパママを対象に、色育教材の塗り絵カードや絵本などを体験してもらう講座を実施する。  
色育を通して、子どもにもパパママにも3つの力が育まれ、親子の気持ちの理解度が高まり、絆が深まることが期待される。

## 50万円コース

団体名 NPO 法人子育て・高齢者介護サポートばっけの会  
事業名 働く車大集合事業

子どもも親も大好きな働く車を一堂に集め、試乗体験・デモンストレーションや制服の着用、お仕事体験などのできるイベントを旧秋田空港跡地で開催する。実施に当たっては、4団体との連携と企業からの支援を得る。  
父親も含めて家族そろって参加しやすい工夫をし、家族のコミュニケーションや絆の深まり、楽しい子育ての増進に繋げる。

団体名 ベビーフェス実行委員会  
事業名 ベビーフェス2016 ～しあわせなお産 パースハピネス～

日ごろ秋田の女性やその家族が、妊娠や出産、育児を通して幸せな人生を送れるための活動をしている。  
今回は、お産の写真を撮り続けてきた3人の女性写真家の写真展とお産を題材にしたドキュメンタリー映画「玄牝」の上映会等を9月に雄和観光交流館で開催する。妊娠・出産・育児について前向きに考える人が増え、さらに出生数の減少に歯止めがかかることが期待される。

## 第15回（2016年度第1回）助成先決定

第15回あきたスギッチファンドは、5月10日～6月10日に募集し、7月3日（日）公開審査会を実施した。応募件数があまり多くなかったので、プレゼンテーションの持ち時間を5分延ばして20分にしたので、余裕をもって質疑応答することができた。審査協議は時間がかかり、結果発表は15分遅れて4時過ぎとなった。委員からは、活発な市民活動に期待するという意見とともに、公明性の高い組織作り、継続して活動する仕組み作りを求める意見、団体同士がつながり活動を広げていく工夫を求める意見が述べられた。

### 募集、応募、採択状況

助成額	募集件数	応募件数	採択件数
本ファンド 上限10万円コース	2	3	3
上限30万円コース	4	3	3
上限50万円コース	2	2	2
分野指定 震災支援 10万円コース	2	2	1



審査講評と結果の発表

## 本ファンド

### 10万円コース

団体名 NPO 法人秋田県音楽普及協会（おんぷの会）  
事業名 アマチュア音楽愛好者たちの祭典 第2回チャレンジコンサート

アマチュアの演奏をアマチュアの聴衆が人気投票によって選ぶ、新しい形態のコンサートを、8月20日アトリオン音楽ホールで開催する。演奏参加者40組、総勢70名の参加を目指す。  
県民の音楽文化への理解が高められ、いつでもどこでも音楽を楽しむ状況を作っていきたい。



団体名 NPO 法人白瀬南極探検100周年記念会  
事業名 南極昭和基地開設60周年記念 南極探検隊長白瀬中尉を偲ぶ集い

当法人は、白瀬轟の出身地（にかほ市金浦）として、白瀬南極探検隊の偉業と探検思想を受け継ぐ日本の南極観測と南極大陸の現状、あわせて地球保護の大切さを伝える活動を実施している。今回は、白瀬の活動を広く県民に知らせる「白瀬中尉を偲ぶ雪中行進」と、青少年を対象に南極昭和基地と講演会場・金浦小学校をテレビ電話で結んで南極観測、南極の自然、環境問題について学ぶ「昭和基地からの南極教室」を実施する。

団体名 公益社団法人全日本断酒連盟秋田県断酒連合会  
事業名 平成28年度アルコール問題相談支援会・市民公開セミナー

アルコール依存症は、大きな社会問題であり、平成26年6月に「アルコール健康障害対策基本法」が施行され、これに基づき平成28年5月には「アルコール健康障害対策推進基本計画」が策定された。これに則り、潟上市の秋田中央保健所で、アルコール健康障害相談支援会、講演会、断酒会体験発表などを行う。また併せてアルコール教育の冊子、回復のためのリーフレットを配布するなどにより、アルコール問題の解決を目指す。

### 30万円コース

団体名 ぬくだまるの仲間たち  
事業名 チャリティショップ & チャリティスタディ

代表の自宅の車庫を改装して、常設のチャリティショップを開設する。品物は大館市内外の方から寄付してもらい、ぬくだまるに集まってくる高齢者たちにボランティアで店番、値付けなどをしてもらおう。売り上げは、主に貧困世帯の子どもたちのために活動する団体などに寄付をしていきたい。  
また毎月1回、地域でボランティア活動をしている方々に講演して頂き、仲間たちのボランティア意識を高めていきたい。

団体名 竿燈まつりウェルカムステージ実行委員会  
事業名 竿燈まつりウェルカムステージ

竿燈まつり期間に、秋田駅前のアゴラ広場で、ステージイベントを実施する。アゴラ広場で行われる竿燈演技の前後に、ヤートセチームの演舞、ヒップホップダンス、和太鼓演奏、郷土芸能等を披露して、観光客に秋田の良さをアピールする。地元のパフォーマーにとっても多くの観光客の前で出演する機会となり、新たな才能の発掘につながる事ができる。



団体名 あきたの本っこ制作委員会  
事業名 かだるフェス in 大館

当委員会は、様々な視点で、秋田のおもしろいところを発見し発信していくことを目的に活動している。今回は8月14日「ハチ公小径」で「かだるフェス in 大館」を開催する。①「熟議 in 大館～秋田満喫ツアーをプランニング♪～」という県内でまちおこし事業を展開する方の講演や、まちの課題について話し合うワークショップ ②秋田の民芸品やハンドメイド作品のマルシェ ③「あきたの本っこ」の販売などを行う。

## 50万円コース

団体名 NPO 多摩東成年後見の会・大館の友  
事業名 市民後見人と「マイノート」の普及活動

この団体は、市民後見活動の実績のある NPO 多摩東成年後見の会と連携して大館市で活動しており、今回は成年後見制度の啓発・普及活動を行う。成年後見制度の理解や市民後見人に対する認知度は低いのが現状であり、講演会等を行って啓発・啓蒙を図る。また、市民後見の前提には、判断能力が十分な頃に自分の意思を確認しておくことが理想である。そのために自分の介護期をどのように過ごしたいかを書き残しておく「マイノート」の普及活動、書き方指導を行う。

団体名 横手ウェルカムミュージック事業実行委員会  
事業名 横手ウェルカムミュージック事業

9月に横手市で、あきた音楽大使で横手市出身の「高橋優」の音楽フェスが開催される。全国から多くのファンが来ると予想される。ファンが降り立つ横手駅前に大型のテントを張って特設ステージを設置し、清流太鼓、ジャズ演奏、ストリートダンスなどを披露する。遠方から来る方たちに、秋田・横手の魅力を知ってもらい、喜んでもらい、歓迎の意を表するイベントにしたい。

# 分野指定ファンド 東日本大震災被災者支援

10万円コース

これまで東日本大震災被災者支援分野を指定した寄付金や募金が20万円を超えたので、今回分野指定ファンドとして、10万円2件を募集、1件が採択された。

団体名 ゆざわフレンズネット  
事業名 被災地の“いま”を知る交流事業

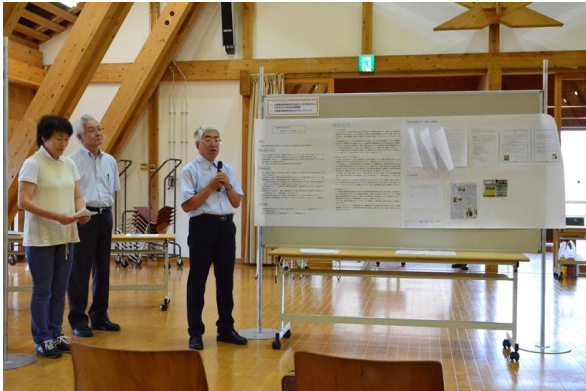
当団体は、県南部の被災者支援を平成23年から実施している。避難者は震災から5年を経過して、いよいよふるさとへの帰還など今後の生活設計等を考える必要に迫られている。そこで当県に避難し被災地に帰還した方2人を招いて、被災地の現状を知る情報交換交流会を開催する。生の情報交換ができる場を提供することで、今後の生活基盤等を考えるきっかけとして頂く。

また高校生や地域住民にも参加してもらい、災害について学ぶと共に、相互に交流を深める機会とする。

## 助成事業報告会

7月16日（土）、第12回、13回助成事業の報告会を開催した。

第12回は、平成26（2014）年12月に審査し、27年8月まで事業を実施した7団体、第13回は、平成27（2015）年7月に審査し、28年2月まで事業を実施した9団体である。各団体は、展示ボードに事業の実施状況と成果を掲示し、活動をアピールした。



### 報告団体一覧

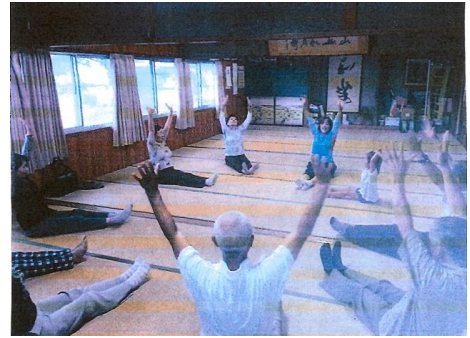
#### 第12回助成事業団体

#### 第13回助成事業団体

ふれ愛塾	交通事故被害者の会サポート・ウィンド
ハラウ・フラ・ハク・レイ	NPO 法人あきたけやき会
NPO 法人あきた花咲く教師力ネット	秋田県在宅保健師等ゆざり葉の会
土方巽記念秋田舞踏会	びーらぶ秋田
草木谷を守る会	NAO のたまご
秋田赤十字奉仕団	NPO 法人かづのふるさと学舎
NPO 法人由利本荘にかほ市民が健康を守る会	NPO 法人かじか瀬
	NPO 住まい安心サポート秋田
	太平山ロックフェスティバル2015

最初に、助成を受けその後活発に活動している団体の中から NPO 法人由利本荘にかほ市民が健康を守る会と草木谷を守る会の2団体に事例発表をして頂いた。

NPO 法人由利本荘にかほ市民が健康を守る会(由利本荘市)は、「運動と会話で生活習慣病や要介護を予防」事業に、冠ファンド「活力ある高齢社会づくりファンド～秋田銀行行員有志支援による～」の30万円助成を受けた。助成金で、ランニングマシンや筋肉トレーニングマシンを購入、法人事務所に設置して地域住民に利用して頂くと共に、市民対象の「市民運動講座」を5回開催した。事業報告会では、会員で整形外科医の谷合氏が高齢者が運動することの重要性を強調し、この事業の意義を述べられた。またこれと共に認知症の見守りや高齢者サロン、地域のおまつりなどにも活動を広げている状況を映像で示しながら報告された



草木谷を守る会(潟上市)は、「繋がる・広がる草木谷コミュニティー山田の盆踊り復活プロジェクト」に30万円の助成を受けた。会では、10年前まで行われていた盆踊りを復活させるため、地域住民だけでなく、草木谷の活動に関わる学生や社会人を巻き込んで、ワークショップや実行委員会を実施。盆踊り当日は、悪天候にもかかわらず地域外の多種多様な人を含めて約60名が参加、小さな集落は大いに賑わった。

懸案だった太鼓の補修もでき、また実行委員の秋田大学の方からの申し出により、盆踊りのモーションキャプチャーのデータ取りも行われことになった。今後の盆踊りの継続が大いに期待される。



この後、会場を巡りながら、掲示版の前で各団体の事業の説明と質疑を行った。何れの団体も活発な活動を実施した様子が見られた。

第12回に10万円の助成を受けた大館市のハラウ・フラ・ハク・レイは、大館市立文化会館でチャリティ公演を実施し、800名が参加したという。会のメンバー4人がフラダンスを2曲披露し、会場を大いに盛り上げた。



事業報告に続いて、NPO 交流会を実施、参加者同士情報交換をし、4時15分に全日程を終了した。

## あきたスギッチファンド寄付者一覧 (平成28年4月～平成28年7月)

※敬称略、順不動、お名前の公開許可を頂いた方のみ掲載します。

団体・企業等	株式会社あくら、株式会社福岡ドライクリーニング、有限会社半田葬儀社、みちのくコカ・コーラボトリング株式会社、有限会社ワタ商事、株式会社伊藤園秋田支店、サントリービバレッジサービス(株)秋田支店、ダイドードリンコ株式会社、(株)サノ・ファーマシー、秋田銀行地域サポート部、昭和化学工業、奥羽住宅産業(株)もりた整形外科医院、イオン僱事、NPO 法人秋田県北 NPO 支援センター、SOUP HOLIC、秋田県断酒連合会、スギッチ応援隊
個人	清水昭徳、田畑薫、堀井啓一、寺田豊、武藤馨、小林祐子、藤原睦子、富樫嘉津恵、菅原勝耕、菅原拓男